



稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 21期 第7回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時： 2022年1月29日（土）

開催内容： 塾長あいさつ

塾長：山崎 肇(13期)

【診る】

診断の手順およびヒアリング準備

診断実習（ヒアリング）

講師：木村 洋一(14期)

■講義レポート

1月29日土曜日、稼げる! プロコン育成塾 21期の第7回講義を実施しました。今回は、オミクロン株急拡大にともなう新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置のため、急遽、Zoomによるオンライン形態に変更しての開催となりました。講義には塾生6名のほか、卒塾生1名(13期生)が参加しています。

講義内容は、稼プロ! 診断実習の正念場、診断先のヒアリングです。午前に木村講師の講義と塾生によるヒアリングの準備とを行い、午後に診断先とZoom接続しヒアリングを実施しました。完全オンラインでのヒアリングは稼プロ! 初の試みでしたが、事前準備が功を奏し接続トラブルもなくスムーズに終わることができました。

1. 診断の手順およびヒアリング準備

講師：木村 洋一(14期)

木村講師から「ヒアリングから提言骨子・具体策検討までの流れ」をご講義いただきました。過去の診断事例をもとにした具体的な内容です。

1つ目はヒアリング実施のポイントです。事前の事業者様に関する調査や外部環境情報から、事業者様が抱える課題の仮説を深掘りすることの重要性を教えてくださいました。間違いであってもよいから、経営者やお客様の視点など、多角的に仮説を立てること、ヒアリングはその検証を通して真の課題を抽出することを学びました。

2つ目は具体的な提言内容の立て方です。提案テーマ設定の考え方や、具体的な提言内容をどう展開していくかという点です。最終提言書は、木村講師の持論である一次試験の知識（フレームワーク等）をフル活用し、図・チャートに整理して示すことで、経営者にとって理解しやすく



写真 1 : Zoom でのディスカッション

共感を得られやすくなることを、例示いただきました。

講義後は、塾生主体でヒアリング内容とその後のとりまとめイメージのディスカッションです。主な内容は、事前調査の内容共有、ヒアリングポイントの最終確認です。先月より塾生・OB生間で調査や打合せを何度も重ねており、当日も非常に活発な意見交換がなされました。リーダー役の塾生が論点整理したうえで進行したので、オンラインであってもスムーズに全員の認識を合わせることができています。

2. 診断実習（ヒアリング）

講師：木村 洋一（14期）

午後は今回講義のメインのヒアリングです。これまでの講義で学習した「話す」「聴く」スキルを試す機会です。今回の診断先は古民家を活用したカフェ・居酒屋を運営されている事業者様です。

事前に、山崎塾長から、Zoomでのヒアリングは画面を通じた見映えを気にすること（服装、顔の位置、画角など）、木村講師から、オンラインでのヒアリングのコツとして、いつもの倍の大きさの声で話す、オーバーアクションする、の2点をアドバイスいただき、ヒアリングに臨みました。



写真 2：オンラインヒアリング

Zoom 接続で2時間、社長と共同経営者の奥様からお話を伺いました。事前に事業内容や周辺環境などを綿密に調査しヒアリング内容を整理したことが役立ちました。事業者様から今抱えている課題、事業への思いや展望、これから挑戦したい内容など、具体的かつ詳細にお聞かせいただき、経営者が多種多様な悩みを抱えていることを塾生・事務局一同実感しています。一方、コロナなど事業環境が目まぐるしく変わる中で、その多くの悩みを統合的に整理して打ち手を考える余裕が乏しいことも伺えました。ヒアリング後すぐに、SWOT分析とドメイン分析を整理し、最後、木村講師から、現時点の分析はお客様の視点のウェイトが高くなっているため、もう1点高い視座から見るようアドバイスと宿題をいただき第7回講義を終えました。

4月の報告会に向けて、すぐに役立つ提案、喜んでもらえる提案ができるよう、塾生一丸でヒアリング結果の分析と提言書の立案に取り組んでいきます。

■ 次回の案内

次回講義は、2月26日（土）都内区民館での開催を予定していましたが、協会方針に従って、オンライン開催となります。

【診る】診断実習（報告書のブラッシュアップ）

木村 洋一（14期）

【独立へのロールモデル】稼プロ！卒塾生に聞く”成功への秘訣”

高橋 利忠（15期）

【特別講義⑤】（仮題）活躍するコンサルタントに必要な姿勢

特別講師 金網 潤 氏

（事務局：大井 秀人）

以 上